

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 24 日

所属	サービス創造学部	職名	教授	氏名	今井重男
研究課題	ブライダル産業およびブライダルサービスの研究				
研究キーワード	現代ブライダルサービス、 新ブライダルサービス	当年度計画に対する 達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連する SDGs項目	9. 産業と技術革新の基 盤をつくろう	11. 住み続けられるまち づくりを	12. つくる責任 つかう 責任	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

- (1) 「ブライダルの歴史および変遷研究」に関しては、宗教社会学とそれに密接に関連する哲学分野の書籍読み込みと、新宗教の婚礼を調査するためこれらの教典関連資料渉猟を行った。なお、行動制限下やむなく、研究遂行上必要なフィールドワークはほぼすべて実施を見送った。
- (2) 「エシカルウェディング」については、わが国のブライダルサービスに関わるエシカル視点での「フード」、「引き出物」、「フラワー」、「ジュエリー」、「ドレス」および「プロデュース」の実態を研究した。わが国のこれまでのブライダル諸活動は、慶事であるブライダルには贅を尽くす、すなわち豪華絢爛が喜ばれ、エシカルの概念導入は一般化していなかったが、近年それが改まる兆しが見られることを確認した。特に、披露宴・パーティーにおいて、結婚するカップルがエシカル農業によって育て収穫した作物を使った料理(エシカルフード)の導入に関して、昨年度に続き体験型農業を主宰する指導者・関係者、あるいは地産地消を掲げるレストラン経営者らと、可能性について議論した。

## 2. 著書・論文・学会発表等(査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

昨年度は、【論文(査読あり)】・【著書・論文(査読なし)】・【学会発表等】等の業績をあげていません。  
2022年度はこれを繰り返さないようにする所存です。

## 3. 主な経費

学会年会費、関連書籍の購入や文具代、体験型エシカル農業指導料等に使用しました。

## 4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)

## 【表彰】

特筆事項は特にありません。

## 【科学研究費】

基盤研究(C) 20K12432 : 令和2年度～令和4年度、研究代表者、「我が国ブライダルツーリズムのビジネスモデル化研究」、429万円

## 【千葉商科大学経済研究所プロジェクト】

令和2年度～令和3年度(1年延長申請了承済み)、共同研究者、「訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察」、240万円